

広報・教育部門

応募事例名



SNSを活用した若年層への下水道広報 大阪学院大学×吹田市「下水道プロジェクト」

応募団体名)吹田市・大阪学院大学

応募事例の概要

大阪学院大学と吹田市との官学連携が、下水道部水再生室による新たな企画として発足した「下水道プロジェクト」

OGUプレゼンサークルの学生と市職員が「SNSを活用した若年層への下水道広報」という、Z世代によるZ世代への今までにない広報に挑戦しました。

今回のプロジェクトでは、下水道の認知度調査とともに、若年層に対して、もっとも効果的に情報発信できるSNSを調査・検討。

下水道にまつわる情報を織り交ぜたショート動画を制作し、多種多様なSNSで情報発信を行いました。

プロジェクトの最後には、今回の取組の具体的な内容や下水道についての思いなどを交えた発表会として、学生自らの発表を行い、締めくくりました。

取組の特集ページは
こちら



PRポイント

広報のターゲットを“下水道があって当たり前”のZ世代と位置づけました。学生の下水道に対する思いを中心に、これまでの下水道職員の思考からの一方向的な発信の広報とは違い、学生であるZ世代の思考によって、これまでになく新鮮な目線で情報発信することが出来ました。

取組に関するエピソード

まったく新しい取組だったので、企画～構成～撮影～編集と、手探りで状態でした。しかし、ちょっと天然な学生が突然おっさんキャラになったり、アドリブ合戦をしたり、笑い転げていたことが多かった気がします。



企画・施設担当 主幹
坂野友宏



企画・施設担当 主査
長谷川竜平